

社会福祉法人日本国際社会事業団
2023年度第393回 理事会 議事録

- 1 開催日時
2023年6月8日（木曜日） 18時30分から20時30分まで
- 2 開催場所
オンライン開催
- 3 出席者（敬称略）
理事（総数6名 出席6名）永坂哲、石川美絵子、篠原敏夫、長島弘征、畑山篤、
小豆澤史絵
監事（総数2名 出席2名）山本一雄、田多晋
事務局（1名）櫻井環
- 4 欠席者
なし
- 5 議長
理事長 永坂哲
- 6 議事録作成者
櫻井環
- 7 決議に特別の利害関係を有する理事
該当者なし
- 8 議題
 - (1) 報告事項
報告第1号：理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告
 - (2) 決議事項
 - 第1号：役員推薦の件
 - 第2号：2022年度事業報告書および計算書類承認の件
 - 第3号：監査報告
 - 第4号：2023年度定時評議員会の招集の件
 - 第5号：リース組み換えの件
- 9 理事会の議事の経過要領及びその結果

- 永坂議長 今日、入管法の改正が可決されましたが、本件は支援に影響があると思いますか。
- 小豆澤理事 影響はあると思います。
- 永坂議長 大学との取り組みはどのような勉強をしている学生と実施しているのでしょうか。
- 石川理事 ISSJ の日本語教室に関連して、日本語教育やコミュニティ支援に関心のある生徒やカリキュラムと関係して取り組んでいます。
- 永坂議長 続いて、決算について石川理事より説明をお願いします。
石川常務理事から、第2号議案資料に基づき、2022年度決算書についての説明があった。
- 石川理事 全体として、400万近くの赤字の決算となりました。次年度について、固定費の削減など、対策を練る必要があります。
- 田多監事 事業費については、自己資金を使用していないという理解でいいのでしょうか。
- 石川理事 はい。
- 石川理事 2022年度の決算の説明については以上です。過年度の計算書類について、会計システム上の問題で修正を行ったので、評議員委員会に提出するために、本日3年度分の計算書類の承認をお願いします。
- 永坂議長 石川理事より説明をお願いします。
石川常務理事から、第2号議案資料に基づき、過去2年分の計算書類の修正についての説明があった。
- 石川理事 過年度決算書の修正について、2021年度の決算書と2020年度の決算書の数値の一部に誤りがあることが所轄庁の監査で指摘されました。第2号第4様式で、明細の勘定科目ごとに見ると、内訳に誤りがありました。繰越金に誤りはありません。原因は、システム上での決算書類作成のプロセスにあります。2020年度以前は会計事務所に記帳代行を依頼していました。しかし、社会福祉法人会計基準に対応していなかったため、会計事務所が作成したものをISSJ側で修正して最終化していました。2020年度に会計システムを導入した際、会計事務所のデータを業者が移行しましたが、内容に誤りがありました。勘定科目の誤りなので、繰越金には影響はありません。
- 永坂議長 全体では数値の違いはなかったということですので、科目の修正ご承認いただけますでしょうか。
他に質問などないようでしたら、第2号議案について、承認いただけるということよろしいでしょうか。
- (異議なしとの声あり)
- 永坂議長 第2号は原案のとおり議決されたものと認めます。

(4) 第3号監査報告

山本監事 UTMは入口で防ぐ機能になっているが、実際の今のウイルスは暗号化されてはいつてくるので、ファイヤーウォールでは防ぐことができないこともあります。

永坂議長 複合機やソフトについて、選択肢をもう少し考える必要があると思いました。複合機について、プリントアウトの量も減ってきています。ポイントは経費削減だと思うので、ISSJと同規模の事務所がどのような事情でやっているかなど情報収集をしたほうがいいのではないのでしょうか。結論を先延ばしにするのもよくないので、臨時理事会などを設けて決めたほうがいいと思います。

小豆澤理事 減額になっても固定費として重く経営にのしかかるので、再考したほうがいいと思います。

永坂議長 他に質問などないようでしたら、第5号議案については、再度議論することにいたします。

(異議なしとの声あり)

永坂議長 それでは、本日の報告事項につきましては、理事会として了承したものとさせていただきます。本日の議題は全て終了いたしました。これもちまして、本日の理事会を閉会させていただきたいと存じます。ありがとうございました。

議事録署名人

理事長 永坂 哲



監事 山本 一雄



監事 田多 晋



